

大学体育科目『バスケット型スポーツ』における受講生による主観的評価の種目間比較

飯田祥明（南山大学 体育教育センター）

【背景】

大学教養体育における『バスケット型スポーツ』の授業実践例を紹介（飯田 2024）@バスケットボール学会大会



- ・2007年に正式種目化
- ・各チームは3人で構成
- ・ハーフコートで実施
- ・公式の試合時間は10分間（もしくは21点先取）
- ・得点は1点、2点
- ・攻守交替時はアークの外に



- ・オランダ発祥
- ・各チームは8人で構成
- ・男女混合が正式ルール
- ・同性しかマークできない
- ・フリーでしかショット出来ない
- ・360°どこからでも打てる



- ・イギリス発祥
- ・各チームは7人で構成
- ・ポジション毎のエリア制限
- ・ドリブルが無い
- ・身体接触が禁止
- ・ボール保持者への接近禁止

授業の観察、受講者からの聞き取り → 各種目に5人制バスケットボールとは異なった教育効果？受講者からのニーズ？

課題 種目間の比較ができるデータの不足

【目的】 3種目の学習効果の特徴を明らかにするため、各種目への主観的評価に関するアンケート調査を実施

【方法】

授業内容

- ・全学部対象の**選択科目**
- ・週2回実施
- ・2年生以上が対象
- ・Q1: **女子2名、男子6名**、 Q2: **女子18名、男子4名**

月曜2限	木曜2限
3x3 4回	ネットボール 7回
コーフボール 3回	

アンケート内容

- ・各種目3回終了時に実施
- ・Google formにて回答
- ・無記名回答で個人特定不可
- ・各種目10項目(5段階評価)

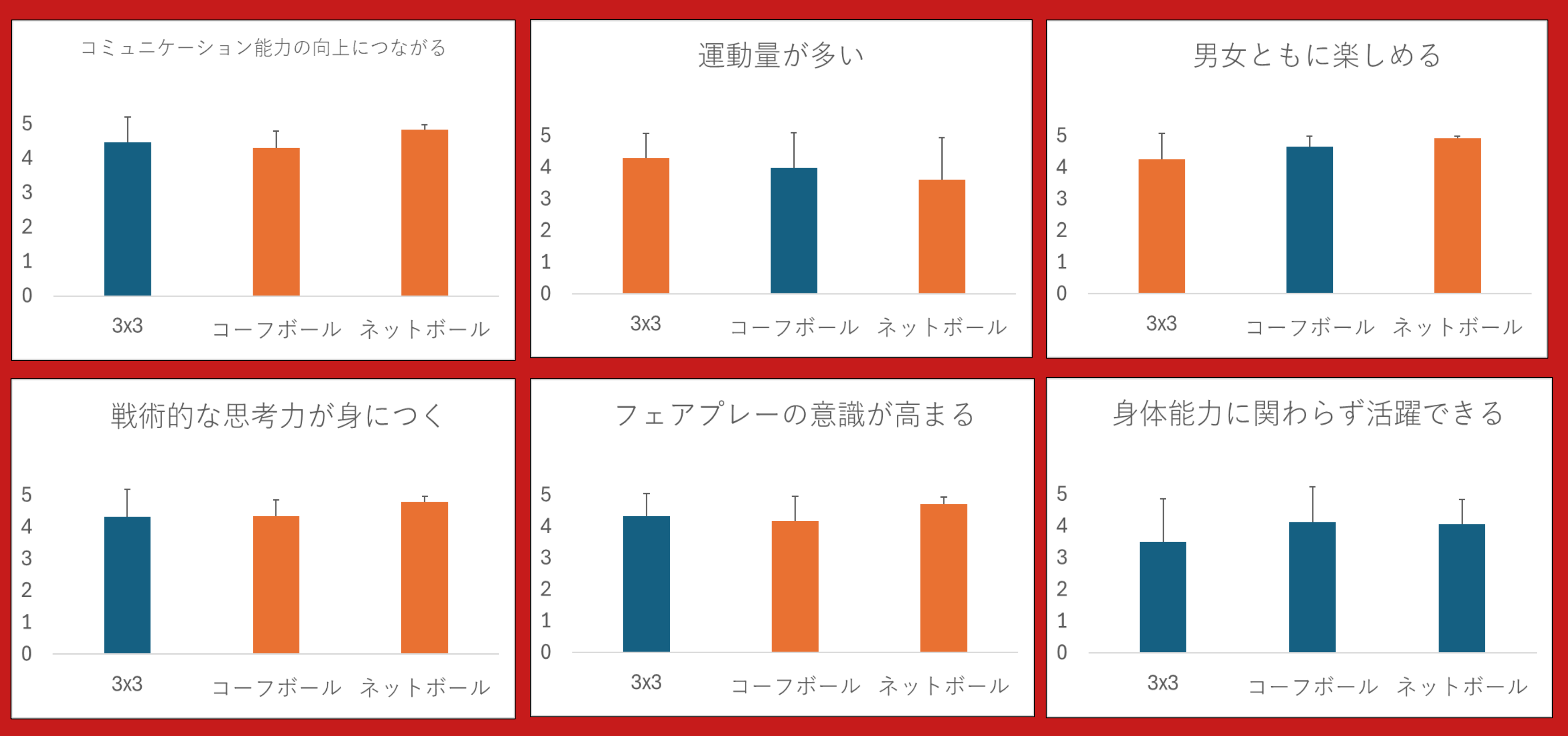


分析

- ・対応のない1元配置分散分析
(3x3: n=30、コーフボール: n=23、ネットボール: n=29)
- ・事後比較: Bonferroni法による多重比較補正
- ・有意水準: $p < 0.05$

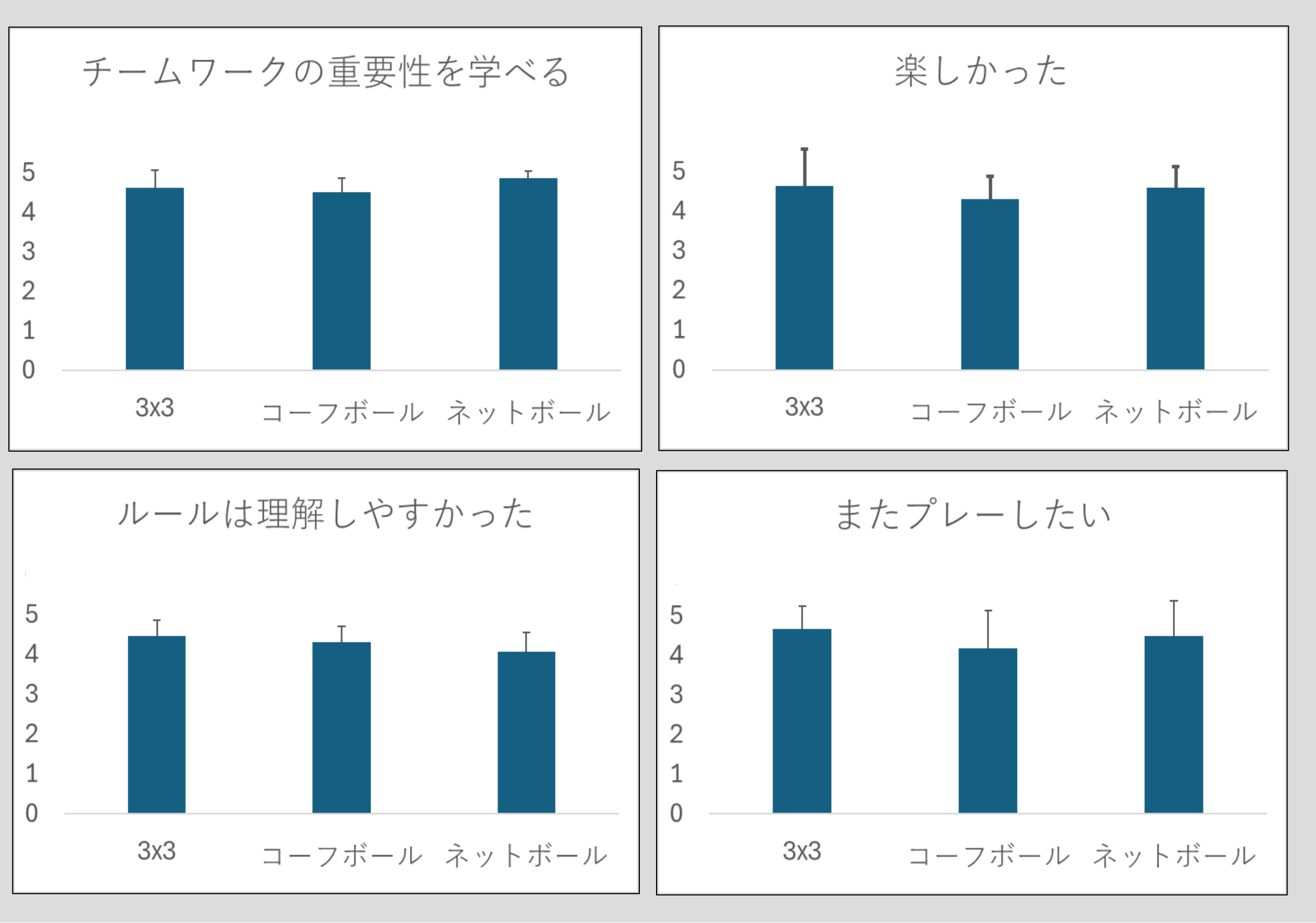
【結果】

種目による主効果あり ($p < 0.05$)



事後検定により有意差があった項目 ($p < 0.05$)

種目による主効果なし



【まとめ】

3x3

- ・**運動量が高い**評価、短時間で強度の高い運動ができるため体力向上や瞬発力の向上に有効
- ・戦術的な思考力・チームワークへの評価は中程度
- ・性別や身体能力への配慮への評価はやや低い

コーフボール

- ・**身体能力に関わらず活躍できる**という特徴は高評価
- ・フェアプレーやチームワークの評価は中程度
- ・戦術的学びやコミュニケーション促進ではネットボールに劣る評価

ネットボール

- ・**コミュニケーション能力向上、戦術的思考力の習得、フェアプレー意識**で高評価
- ・**男女ともに楽しめる**点でも高評価
- ・運動量では3x3よりも劣る評価

体力向上や運動量確保などを
目的とした授業に高い適性

体力差が大きい集団での
授業に高適性

多様な学生が集まるクラスを
協働学習させる授業に最適

学生とその学びの目的に合わせたバスケット型スポーツの選択が可能！